

銅の連続鑄造設備

大和合金が試験稼働 新規顧客の開拓目指す

を試験稼働させた。今後は年内の本格稼働を目指して調整を進める。加工の幅を広げて新規顧客の開拓を目指していく。

新ラインはASA B A社のもので、他メーカーから中古を購入。溶解炉は自社のもので使用する。工場基礎部分の改築や足場の設置などを実施し、容量約1トの保持炉と鑄造ライン、冷却用の水槽などを据え付けた。能力は月間数十トで投資金額は約1千万円。

同社はアルミ青銅やクロム銅、コルソン合金など素材の幅広さが強み。新たに連続鑄造をはじめること、加工の選択肢も広げ客先のニーズにより対応できる体制を整える。現在はサンプル品を出荷し、客先での評価が進んでいる段階。

銅合金鑄鍛メーカーの大和合金（本社・東京都板橋区、社長・萩野茂雄氏）はこのほど、生産会社の三芳合金（埼玉県三芳町）で連続鑄造ラインの写真を

